

**株式会社カナザワが
紺綬褒章を受章**

4月28日、株式会社カナザワへの「紺綬褒章伝達式」が行われました。これは、同社が自然災害や新型コロナウイルス感染症に対し日夜奮闘している大隅肝属地区消防組合へ1千万円を寄附したことによるもの。金沢幸一代表取締役は「最前線で住民の命を守ってくれる消防組合の活動に役立ててほしい」と話しました。寄附金は、救命機器や感染症防止器具等の購入に充てられる予定です。

**農業の活性化につ
ながる営農が評価**

5月24日、大隅地域振興局で「2022年春の褒章受章伝達式」が執り行われました。今回黄綬褒章を受章したのは吾平町下名の中野喜作さん。自身が代表取締役を務める株式会社中野ファームは、肉用牛繁殖経営において地域農業活性化への取り組みやスマート農業の導入など、地域農業の模範となる営農を実施。中野さんは「地域の人たちとともに今後も頑張っていきたい」と語りました。

**「桜の想結」
筆に想いを込めて**

4月27日、鹿屋女子高校書道部と小鹿酒造株式会社の関係者が市役所を訪問しました。これは、同社の創業50周年を記念して3千本限定で作られた芋焼酎「桜の想結」の販売を報告するもので、商品名などラベルの文字を7人の部員で分担して揮毫。同部の木場砂羽さん（3年生）は「20歳を迎えたら部員みんなで飲んで、思い出を語り合いたい」と話しました。

**新一年生の安全を
願ってお守り作成**

4月26日、田崎小学校で交通安全を祈願したランドセル型ストラップの贈呈が行われました。ストラップは川西町内会による手作りで、同校の新1年生へ配布されたほか、今年は市内の小学校新1年生の全児童分である約1,100個を作成し配布。作成に携わった崎山俊一さんは「約1年かけて作成した。児童の安全な通学を心から願っている」と話しました。

**消防庁長官表彰と日本消防協会会長表彰を受賞**

5月11日、鹿屋市消防団の関係者が市役所を訪れました。同団体は、これまでの活動の功績等が評価され優良消防団として2つの賞を受賞。井之上芳徳団長は「これからも市民の安全のために訓練をしていきたい」と話しました。

**温かい支援の心
ウクライナの人々へ**

5月10日、ウクライナへの人道支援に係る募金引渡式が市役所で行われました。本庁や各総合支所に設置した募金箱には214万円を超える募金が寄せられ、これは日本赤十字社を通してウクライナの人々への支援に活用されます。

**地域おこし協力隊らが
大隅の魅力を語る**

4月29日、市文化会館で「おおすみの魅力と課題を語るNIGHT」が開催されました。これは、公益社団法人鹿屋青年会議所が主催したもので、大隅半島2市4町の地域おこし協力隊員などが各地域の強みや弱みなどを語りました。